

第140話 村山家の伊勢参詣日記 その1  中山町 歴史散策



村山家の道中日記

村山家は、江戸初中期の長崎村にあって、大蔵村の豪商稲村七郎左衛門家の出先商人として産を成した家である。もともと、大蔵村荒谷の出身で、長崎新田町に居を構え、長崎周辺の大蔵・小蔵、青芋、荏などを集荷、落合の船頭衆の手で酒田に降ろし、酒田詰め稲村家番頭らが買集めた登せ荷を、長崎や山辺で売りさばく「のこぎり商法」の先鞭をつけた名家です。初代は「新三郎」の名で親しまれました。享保5年（1721年）頃になると、屋号を村山屋と名乗って、長崎河岸を中心に活躍しました（村山新三郎家資料より）。村山理作（8代 信泰）は、享和元年（1801年）正月6日、長崎を立って伊勢参詣

に向かいました。この時の日記が「道中日記」（写真）として残されています。縦18センチ、横14・5センチ、青ねずみ色の表紙の3か所綴り、二つ折り60ページに及ぶもので、文体と筆字の美しさから、別に携帯用の野帳があつて、これから通過地名、交通の難易、見物場所、宿と宿賃に限って清書したことをうかがわせるものです。同行者がいるはずなのですが、ここに記されていないのは、行程内容を意識した書き方をしているからだろうと推測されます。

【用語の説明】

先鞭をつける…先鞭とは、先に鞭を打つこと。出典は中国の「晋書（劉琨伝）」で、ライバル関係にあつた祖逖が自分より先に馬に鞭を打って戦場に行き、功名をあげはしないかと劉琨が心配していたという故事から、他の者より先に物事に着手することをいう。

※引用 中山町史 中巻  
第10章第1節 庶民と信仰

私たち地域おこし協力隊です！ No.8 

こんにちは。最近雨が降ったりやんだり、妙なお天気が続いていますね。気温もだいぶ寒くなってきました。あつという間に冬が来そうで時の流れの速さにびっくりしています。さて先日、協力隊2名は初めてテレビ撮影というものに参加させていただきました。台本の暗記もままならない中、カチコチになって話しているところを撮影していただきました。緊張しすぎて撮影中の記憶があまり残っていないのですが、改めて映画やテレビに出ている人ってすごい…と思ったことだけは強く覚えています。そしてその番組がいよいよ放送されます！ つたない協力隊の姿をぜひご覧いただけたら幸いです。よろしく願いいたします。

詳細はこちら

県政広報テレビ特別番組「いき☆いき やまがた」  
[https://www.pref.yamagata.jp/purpose/koho/tv-radio/7020026tv\\_ikiiki.html](https://www.pref.yamagata.jp/purpose/koho/tv-radio/7020026tv_ikiiki.html)

放送予定日（各回とも放送内容は同じです）

- 11月17日（土） 午後3時54分～ テレビユー山形（TUY）
- 11月25日（日） 午後4時00分～ さくらんぼテレビ（SAY）
- 12月2日（日） 午後2時25分～ 山形放送（YBC）

